

輸送動向について（4月分）

平成26年5月

1. 輸送概況

今月は、3月31日に発生した低気圧の接近に伴う強風による運転規制の影響により、高速貨3本、専貨1本が運休となった。

荷動きについては、消費税増税前の需要急増の反動があるものの、景気回復や円安により国内生産が堅調に推移し、月全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、自動車部品が消費税増税による販売の減及び現地調達化の進展により前年を下回ったものの、円安により国内供給が増加した紙・パルプ、積合せ貨物等が順調な発送により前年を上回り、コンテナ貨物全体では前年比103.8%となった。

車扱貨物は、石油が消費税増税前の前倒し出荷が旺盛となった反動により減送となり、車扱貨物全体では前年比92.3%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,843	1,776	103.8%
車 扱	652	706	92.3%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	140	148	-8	94.3%
	化学工業品	175	172	3	101.9%
	化学薬品	126	119	7	105.4%
	食料工業品	288	280	8	102.9%
	紙・パルプ	289	260	29	111.3%
	他工業品	131	133	-2	98.6%
	積合せ貨物	207	197	10	105.2%
	自動車部品	63	72	-9	87.7%
	家電・情報機器	39	35	4	110.8%
	エコ関連物資	31	32	-1	96.2%
	その他	354	328	26	108.1%
	コンテナ計	1,843	1,776	67	103.8%
車 扱	石油	401	458	-57	87.5%
	セメント・石灰石	128	112	16	115.1%
	車 両	66	68	-2	96.9%
	その他	56	68	-12	82.4%
	車 扱 計	652	706	-54	92.3%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）